

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	もりもりめろん広場(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		~ 2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	2025年 1月17日		~ 2025年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○多職種、専門職の配置 公認心理師、作業療法士、保育士などの多職種が連携して支援を行う体制を整えています。	○専門職による支援 それぞれの職種の長所を活かした支援を行っています。それによりお子さまに様々な学習の機会を提供できています。	○多職種の連携 職種ごとの様々な視点や意見の共有についてさらに強化していくことで、支援内容の充実を目指していきます。
2	○低学齢児に特化した支援 低学年の児童が中心に実施し、基礎的なソーシャルスキルのトレーニングなど、発達段階に応じた支援を行っています。	○小集団活動を取り入れた支援 小集団に分けた活動を積極的に取り入れ、お子さまそれぞれの苦手さへの支援を行っています。 また、それぞれの意見を発表する機会を作り、一人一人違う視点を持っているという気付きを得られる機会を作るようにしています。	○プログラムの多様化 お子さまの興味や発達段階に応じたプログラムをさらに増やし、学習の機会を広げていきます。
3	○保護者様やクリニックとの連携 保護者様と話をする機会を設けることや、連携している大野はぐくみクリニックとの連携を積極的に行っています。また小学校への訪問なども行っています。	○親子教室の実施 親子で様々な体験をしていただけるように月に1回開催しています。また、保護者様に対してはお子さまの特性や関わり方についてお伝えしています。	○複数の機関での連携 保護者様同士での情報共有の機会や、事業所・クリニック・学校などお子さまに関わる複数の方々の連携の場を作っていきたいと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○地域との関わり 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のお子さまと活動する機会がありません。	お子さまが通う小学校へ、スタッフが訪問する機会はありませんが、普段の療育では事業所内での活動が主であるため、難しいのが現状です。	保護者様のニーズや必要に応じて、実施を検討したいと思っています。
2	○保護者同士の交流の場が少ない 親子教室の時間に、お子さまの特性理解や対応等についての話をする機会は設定していたが、保護者同士での困り感の共有という視点では、設定できていません。	保護者支援よりもお子さま本人への支援に重点をおいてしまっていたのが要因です。	放課後等デイサービス開所日は、空いている部屋を開放し、保護者さまが自由に入出入りできるようにすることで、保護者同士のつながりの機会の場の提供を行っていきます。 必要に応じて、保護者会の開催なども検討していきます。
3			